

2023年9月24日

## 主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒68番（旧5番）

『若葉の牧場より』

聖書⇒ルカによる福音書 15:11~20 節（MM 姉）

『また、イエスは言われた。「ある人に息子が二人いた。弟の方が父親に、『お父さん、わたしが頂くことになっている財産の分け前をください』と言った。それで、父親は財産を二人に分けてやった。何日もたたないうちに、下の息子は全部を金に換えて、遠い国に旅立ち、そこで放蕩の限りを尽くして、財産を無駄遣いしてしまった。何もかも使い果たしたとき、その地方にひどい飢饉が起こって、彼は食べるにも困り始めた。それで、その地方に住むある人のところに身を寄せたところ、その人は彼を畑にやっけて豚の世話をさせた。彼は豚の食べるいなご豆を食べてでも腹を満たしたかったが、食べ物をくれる人はだれもいなかった。そこで、彼は我に返って言った。『父のところでは、あんなに大勢の雇い人に、有り余るほどパンがあるのに、わたしはここで飢え死にしそうだ。ここをたち、父のところに行って言おう。「お父さん、わたしは天に対しても、またお父さんに対しても罪を犯しました。もう息子と呼ばれる資格はありません。雇い人の一人にしてください」と。』そして、彼はそこをたち、父親のもとに行った。ところが、まだ遠く離れていたのに、父親は息子を見つけて、憐れに思い、走り寄って首を抱き、接吻した。』

礼拝讃美歌⇒6番（旧8番）

『遙かに迷いし』

聖書⇒フィリピの信徒への手紙 4:4~7 節（HT 姉、MY 姉）

『主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。』

どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。』

礼拝讃美歌⇒168番（旧74番）

『妙なる救いの』

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 15:45~49 節 (ES 姉)

『「最初の人アダムは命のある生き物となった」と書いてありますが、最後のアダムは命を与える霊となったのです。最初に霊の体があったのではありません。自然の命の体があり、次いで霊の体があるのです。最初の人土ででき、地に属する者であり、第二の人は天に属する者です。土からできた者たちはすべて、土からできたその人に等しく、天に属する者たちはすべて、天に属するその人に等しいのです。わたしたちは、土からできたその人の似姿となっているように、天に属するその人の似姿にもなるのです。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 18:35~36 節

『ピラトは言い返した。「わたしはユダヤ人なのか。お前の同胞や祭司長たちが、お前をわたしに引き渡したのだ。いったい何をしたのか。」イエスはお答えになった。「わたしの国は、この世には属していない。もし、わたしの国がこの世に属していれば、わたしがユダヤ人に引き渡されないように、部下が戦ったことだろう。しかし、実際、わたしの国はこの世には属していない。』

(祈)

《パン裂き》

聖書⇒ヘブライ人への手紙 9:11~14 節 (KH 兄)

『けれども、キリストは、既の実現している恵みの大祭司としておいでになったのですから、人間の手で造られたのではない、すなわち、この世のものではない、更に大きく、更に完全な幕屋を通り、雄山羊と若い雄牛の血によらないで、御自身の血によって、ただ一度聖所に入って永遠の贖いを成し遂げられたのです。なぜなら、もし、雄山羊と雄牛の血、また雌牛の灰が、汚れた者たちに振りかけられて、彼らを聖なる者とし、その身を清めるならば、まして、永遠の“霊”によって、御自身をきずのないものとして神に献げられたキリストの血は、わたしたちの良心を死んだ業から清めて、生ける神を礼拝するようにさせないでしょうか。』

(式)

礼拝讃美歌⇒138 番 (旧 214 番詞)

『供えられし』

《建徳》

聖書⇒マタイによる福音書 10:29~30 節 (TM 兄)

『二羽の雀が一アサリオンで売られているではないか。だが、その一羽さえ、あなたがたの父のお許しがなければ、地に落ちることはない。あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられている。』

聖書⇒マタイによる福音書 18:12b~14 節

『ある人が羊を百匹持っていて、その一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、迷い出た一匹を捜しに行かないだろうか。はっきり言うておくが、もし、それを見つけたら、迷わずにいた九十九匹より、その一匹のことを喜ぶだろう。そのように、これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない。』

聖書⇒ヨブ記 35:14 節

『あなたは神を見ることができないと言うが／あなたの訴えは御前にある。あなたは神を待つべきなのだ。』

聖書⇒詩編 62:6~7、9 節

『わたしの魂よ、沈黙して、ただ神に向かえ。神にのみ、わたしは希望をおいている。  
神はわたしの岩、わたしの救い、砦の塔。わたしは動揺しない。

民よ、どのような時にも神に信頼し／御前に心を注ぎ出せ。神はわたしたちの避けどころ。』

聖書⇒マタイによる福音書 7:9~11 節

『あなたがたのだれが、パンを欲しがる自分の子供に、石を与えるだろうか。魚を欲しがるのに、蛇を与えるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして、あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙二 4:16~18 節 (KH 兄)

『だから、わたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの「外なる人」は衰えていくとしても、わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。  
わたしたちの一時の軽い艱難は、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらしてくれます。わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。』

聖書⇒詩編 42:6 (12) 節

『なぜうなだれるのか、わたしの魂よ／なぜ呻くのか。神を待ち望め。  
わたしはなお、告白しよう／「御顔こそ、わたしの救い」と。』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 3:16~17 節

『どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めて、信仰によってあなたがたの心の内にキリストを住ませ、あなたがたを愛に根ざし、愛にしっかりと立つ者としてくださるように。』

礼拝讃美歌⇒340 番（旧 86 番）（KH 兄）

『絶えず歌え』

《建徳要旨》